1まいめ

# 4びょうしで たたこう

みて・かぞえて・リズムを たのしもう

4分の4拍子：四分音符を1拍として、1小節に4拍。

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ：＿＿＿＿月＿＿＿＿日



## 「1・2・3・4」と かぞえよう！

おなじ はやさで、てを たたいたり こえを だしたり しよう。

### ① 1ぱくずつ



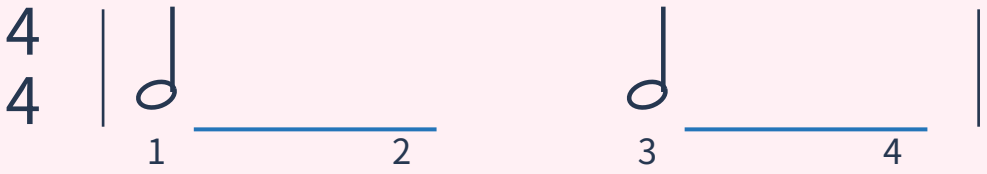

1・2・3・4で、1回ずつ たたこう。

### ② さいごは ながく




3で出した音を、4の終わりまで のばそう。

### ③ 2ぱくずつ




1で出した音を2の終わりまで、3で出した音を4の終わりまで。

### ④ はじめに こまかく




1ぱくめだけ 等間隔で2回。「タタ・タン・タン・タン」。

2まいめ

# 3びょうしで たたこう

みて・かぞえて・リズムを たのしもう

4分の3拍子：四分音符を1拍として、1小節に3拍。

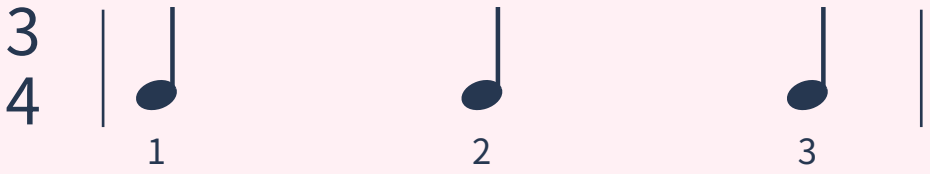
なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ：＿＿＿＿月＿＿＿＿日



## 「1・2・3、1・2・3」と つづけよう！

3の あとで とまらずに、つぎの 1へ すすもう。

### ① 1ぱくずつ



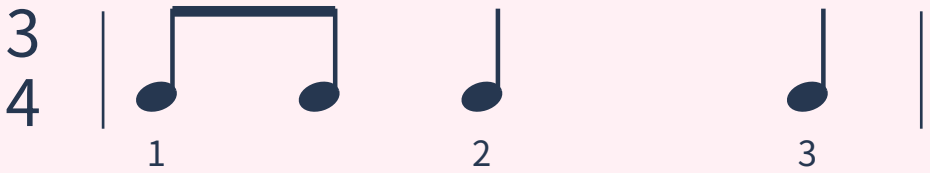

1・2・3で、1回ずつ たたこう。

### ② はじめは ながく




1で出した音を2の終わりまで のばし、3で次の音を出そう。

### ③ はじめに こまかく




1ぱくめだけ 等間隔で2回。「タタ・タン・タン」。

## おやこで チャレンジ

おとな：おなじ はやさで「1・2・3」と かぞえる。

こども：すきな パターンを 2しょうせつ つづける。

できたら、やくわりを こうたいしてみよう。

3まいめ

# なんぱくに なるかな？

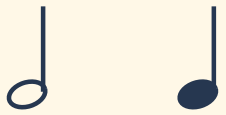
みて・かぞえて・リズムを たのしもう

四分音符＝1拍、二分音符＝2拍、八分音符2つ＝1拍。

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ひづけ：＿＿＿＿月＿＿＿＿日

## 1 ぜんぶで なんぱく？ こたえを かこう。

(1)  ＝（　）ぱく

(2)  ＝（　）ぱく

(3)  ＝（　）ぱく

## 2 あと なんぱく？ すうじを かこう。

(4) 4びょうし：1ぱく ＋ 1ぱく ＋（　）ぱく ＝ 4ぱく

(5) 3びょうし：2ぱく ＋（　）ぱく ＝ 3ぱく

## 3 じぶんで リズムを つくろう。



4ぱくに なるように、おんぷを かこう。

4
4

ヒント：四分音符や二分音符を くみあわせてみよう。

4まいめ

# こたえと おうちの方へ

いっしょに たのしく れんしゅう

1〜3ページが練習用、4ページ目が答え・使い方です。



## 確認問題の答え

(1) 4拍　(2) 3拍　(3) 4拍

(4) 2拍　(5) 1拍

### リズムづくりの答えの例

四分音符4つ／二分音符2つ／四分音符2つ＋二分音符1つ。

ほかにも、音符の長さを合わせて4拍になれば正解です。

## 練習の進め方

① まずは大人が一定の速さで拍を数えます。

② 子どもが声や手拍子でリズムを重ねます。

③ 慣れたらピアノの同じ音で弾き、音の長さも確かめます。

## 長い音と八分音符の伝え方

二分音符は、音を出してから2拍分伸ばす音です。

手拍子では音が伸びないため、声や鍵盤でも確認してください。

図の短い横線は、音を伸ばす時間を示す補助線です。

八分音符2つは1拍に収めます。拍を数える速さは変えません。

## 拍子を感じるためのポイント

4拍子と3拍子の違いは、1小節の拍数です。音符の個数ではありません。

1拍目は「小節の始まり」。必ず大きな音で弾く必要はありません。

メトロノームは1クリック＝四分音符1拍分として合わせます。

速さは無理なく数えられる設定で。短い練習をくり返しましょう。

A4・実際のサイズ（100%）で印刷。白黒印刷でも使用できます。